

2学年普通科 東京研修・ベトナム研修

10月7日(水)に、例年実施している企業訪問、ベトナム訪問によるプレゼンテーションに代えて、オンラインによるプレゼンテーションを行いました。東京研修チームは、日本を代表する企業からいただいたミッションに対して考えてきた自分たちのオリジナルな提案を発表し、企業の方から有益な助言をたくさんいただきました。また、ベトナム研修チームは、現地の高校生に日本について紹介するプレゼンを行い、交流を深めました。

10月20日(火)には、校内で発表会(予選会)が行われ、取り組んできた学習の成果を班ごとに発表しました。その結果、東京研修チームから6班、ベトナム研修チームから2班の計8班が代表に選ばれ、翌10月21日(水)の本選に臨みました。本選は高田城址公園オーレンプラザで行われ、1、2学年の生徒全員が代表の8班による発表を聴きました。審査の結果、「大日本印刷」Aチームが優秀賞に、「ぐるなび」Bチームが秀逸賞に輝きましたが、予選、本選を通じて、ほとんどのグループが原稿を見ずに堂々と発表を行い、プレゼンテーションのスキルの高さと、発表に向けて十分に研修を重ねてきた様子が伺える素晴らしい発表会でした。今年度はあいにく企業訪問、ベトナム訪問を行うことができませんでしたが、長期間の研修を終え、達成感を感じた生徒も多かったのではないのでしょうか。

<東京研修に参加した生徒の声>

感想

- 企業の利益を大事にしなが、消費者や社会のことを考えて提案するのはとても難しいことだと感じました。課題に対して色々な人(企業・消費者・社会)の立場で考えることで、物事を多方面から見る力が養われたと思います。
- 普段消費者側にいる私たちが、利益を上げなければならない企業側の視点で考えることは難しかったですが、企業にも消費者にもメリットがある企画を生み出せるよう工夫を凝らしました。今回の経験から、広い視点で物事を考えることの重要性を学ぶことができました。
- プレゼンでは、聞き手は話し手の発表内容をゼロから知るのであり、「これくらいわかるだろう」という考えは通用しないことに気づきました。
- これまで考えてこなかった経済活動について学ぶことができ、企業の方の前でプレゼンするという貴重な経験ができ



オンラインによるプレゼン(東京研修)



発表会本選(東京研修)



オンラインで留学生と交流(ベトナム研修)



発表会本選(ベトナム研修)

よかったです。

- 問題解決までの手順を身に着けることができました。また、世界規模の大きな問題だけでなく、身近な問題にも目を向けられるようになりました。
- 直近の状況や流行を取り入れると企画に説得力が増すと思いました。今後はこの経験を活かして、大学等では積極的にアイデアを出し仲間を引っ張っていけるようになりたいです。答えのない課題に対して、仲間と協力しながら皆が驚くようなプレゼンをしてみたいです。
- 具体的なデータがあると提案内容に説得力を持たせることが出来ると思います。東京研修の活動を通じて、相手に自分の考えを伝えるスキルが身に付きました。
- 東京に行けなかったことは残念だったけど、自分たちの提案に対して企業の方から良い意見をいただけて良かったです。また、自分たちと違う視点からたくさんの意見をいただき、多角的な見方の大切さを学びました。

後輩へのメッセージ

- 東京研修は、しっかり取り組むことができれば終わった後に自信がつかます。うまくいかないこともたくさんあると思いますが、諦めずに粘り強く取り組んで欲しいです。
- ゼミ発表やプレゼンは堅くて難しいものだというイメージを持っている人は多いと思います。私もその一人でした。ですが、中途半端にやって終わらせるのはとてももったいないと思います。自分の興味があることや好きなことを取り入れたりして、楽しんで考えることが大切だと思います。楽しさの中に学びや達成感を見つけられる時間にすることが大切だと思います。「好き」や「楽しい」の延長線上には新たな発想やよりよい考えが浮かびやすいと思います。そして、楽しんで考えた企画は、聞き手に熱意が伝わり、自然と聞き手に受け入れられると思います。後輩の皆さんの活動がより良いものとなるよう願っています。
- 準備の段階ではうまくいくのかどうか不安なことがたくさんあると思うけれど、一つ一つ不明確なところを明確にしていくことで必ず成功に繋がると思います。そのためにはまず現状把握が大切です！
- 目の前の課題に対して、仲間と話し合い、他の友人や家族にも広く意見を求めたりするとうまくいくと思います。
- とにかく最初にアイデアをたくさん出すことが大事です！（現実的でなくてもいい！）そして、アイデアを固めていく段階でより具体的に、現実的に考えていきます。その際、アイデアの根拠となるデータがあると相手は納得しやすいと思います。
- 真剣に取り組んだ分だけ、将来に役立つ力がたくさん得られると思います。仲間と協力しながら、是非人生の糧にしてください！

○ご協力いただいた企業の一覧○

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| • 株式会社朝日新聞社 | • 株式会社ぐるなび |
| • 株式会社テラスカイ | • 株式会社東芝 |
| • 株式会社フジテレビジョン | • 株式会社ベネッセコーポレーション |
| • 株式会社みずほフィナンシャルグループ | • 株式会社日立製作所 |
| • カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 | • キヤノン株式会社 |
| • シティユーワ法律事務所 | • 信越化学工業株式会社 |
| • 数研出版株式会社 | • 住友生命保険相互会社 |
| • 石油資源開発株式会社(JAPEX) | • 大成建設株式会社 |
| • 大日本印刷株式会社 | • 野村ホールディングス株式会社 |
| • 日本ケミコン株式会社 | • 日本電気株式会社(NEC) |
| • パナソニック株式会社 | • 富士通株式会社 |
| • 横浜ゴム株式会社 | |

2学年理数科 課題研究中間発表会

12月22日（火）に本校にて2年理数科の課題研究中間発表会を開催しました。サイエンスコース・メディカルコースに分かれ、外部から3名の評価者をお招きして研究の成果を発表しました。

サイエンスコースの発表は、物理、化学、生物の各分野に分かれ3会場で行いました。例年よりも準備期間が短い中で迎えた中間発表会でしたが、どの班もひとつの成果を報告し、次に向けて課題を明確にしていたのは素晴らしいと思えました。また、図や写真、動画を上手に活用し発表を分かり易くする工夫が随所に見られました。昨年の夏に全国発表会で「審査委員長賞」に輝いた3年生もそうでしたが、生徒のみなさんのICTを活用してプレゼンする力は本当に素晴らしいと思えます。

さて、課題研究はいよいよ最終段階に入りました。どの班もやるべきことが山積みのようにですが、議論が白熱すると実験をする前に終了のチャイムが鳴ってしまうということもしばしばあります。ですので、放課後の時間等を使って実験をしている人もいます。「もっと時間が欲しい」というのが本音かと思いますが、残された時間の中でやるだけのことをやり、そして何より課題研究を「楽しんで」、4月の本発表に臨んで欲しいと思えます。

○サイエンスコースのテーマ一覧○

分野	研究テーマ
物理	・回転水槽を用いた外核の流体運動の予想 ・ロータス効果による撥水性と滑落角の検証 ・効率の良い風力発電 ・物体の浮遊
化学	・天然着色料の活用 ・ファインバブルを用いた気体の悪臭物質の分解 ・キッチンを用いた医療素材の研究
生物	・味噌の成分 ・アイスプラントの鉛吸収について ・交替性転向反応と走触性の関係について ・根粒のできやすい土壌について

1学年理数科 課題研究

●フィールドワーク

6月17日（水）に、上越教育大学の五百川 裕 教授をお招きして、高田城址公園の自然観察と植物採集、採集植物の野外観察を行いました。観察を通じて植物構成を知り、生息する動植物を観察・同定することで生物の多様性を確かめました。また、スケッチ・標本作製・分類を行いました。



フィールドワーク

●科学セミナー（物理）

10月15日（木）5、6限に、東京大学大学院教授の小紫 公也 先生より、「未来のロケット推進」と題してオンラインによるご講演をいただきました。ロケットと宇宙開発の歴史や、未来のロケットの推進力につて、そして、地球外への移住の可能性についてお話をいただきました。



バイオテクノロジー実習

●バイオテクノロジー実習

11月10日（火）、11日（水）に、新潟薬科大学にて実習を行いました。

<実習内容>

- ・大腸菌の形質転換実験
- ・形質転換実験の結果観察・生成物の分離
- ・講師・TAと実験結果の検討 など

今後は次年度の課題研究Ⅱに向けて各自が興味のある研究テーマを検討していきます。

●プレ課題研究

物理・化学・生物・数学より2つの分野を選択してテーマを決め、課題・仮説を設定し探究に取り組んできました。12月に中間発表会を、2月に最終発表会を行いました。4月からいよいよ課題研究Ⅱがスタートします。



7月課題研究発表会

1学年普通科 探究活動

●MC探究講演会

昨年度に行った探究学習と未来展望セミナーを合わせて、より幅広い専門分野の方々からリモートで講演を行っていただきました。実施したのは休校期間中であったため、生徒は在宅のまま Microsoft Office 365 の teams を用い、最低でも2つの講演を選択しライブで講演に参加しました。

○講演一覧○

日程	分野	講演者・講演内容
5/15(金)	情報工学	① 大学での学びとキャリア形成について+模擬講義 大阪大学工学部情報工学科 准教授 五十嵐 浩二 様
5/18(月)	経済・商学	③ キャリア形成と商社ビジネス 住友商事 西田 奈々子 様
	法学	④ 法律家・弁護士として 上越中央法律事務所 弁護士 田中 淳哉 様
5/19(火)	医学	⑤ 医学部医学科での学びについて 新潟大学医学部医学科 4年 保坂 仁哉 様
	看護	⑦ 看護師・助産師としてのキャリアと、 現代の女性が抱える緒問題について 内田 綾子 様
5/21(木)	マスコミ	⑧ 広告代理店から地元マスコミへ 上越タイムス記者 上原 雅樹 様
	芸術	③ ガラス工芸に魅せられて 長岡造形大学 3年 市川 詩乃 様
5/22(金)	人文・心理	⑨ スクールカウンセラーとは 高田高校スクールカウンセラー 内藤 千恵先生 × 保健室 志賀先生 対談
	理工	⑩ 大手通信事業グループから独立・起業、ドローン開発の最前線で働くエンジニア 株式会社トラジェクトリー代表 小関 賢二 様
	政策情報	⑪ 大学での学びとキャリア形成について (+模擬講義) 千葉商科大学政策情報学部 教授 小林 航 様
5/23(土)	国際	⑫ 国家公務員のキャリア形成 文化庁職員 木南 秀隆 様

●プレゼミ活動 ～地域の課題を解決しよう～

1学年普通科では、上越地域の課題にスポットを当て探究活動(プレゼミ活動)を行ってきました。そのキックオフとして行われたのが9月30日(水)の講演会です。上越創造行政研究所の内海巖様よりリサーチの手法についてご講演をいただいた後、6つの会場に分かれて、上越地域の活性化に関わる地元の方々からご講演をいただきました。生徒は自分の興味のあるテーマの講演を選択できたので、10月から高いモチベーションをもって探究学習に取り組むことができたのではないのでしょうか。2月24日(水)にはこれまでの集大成としてポスター発表会を行いました。この成果を、来年度の東京研修につなげて欲しいと思います。

○テーマ一覧○

テーマ	講師
商業の活性化1	平原 匡 様 (北信越地域資源研究所)
商業の活性化2 本町商店街	熊田 僚己 様 (春陽館書店)
空き家の活用	岩野 秀人 様 (一般社団法人雁木のまち再生)
外国人観光客の誘致	涌井 大輔 様 (ワクイホテル)
上越商品ブランディング	丸山 三左衛門 様 (丸山酒造)
市役所からの課題に挑戦	藤村 勝之 様 (上越市役所)